

[製造業]

照明器具

株式会社オーシャンズ

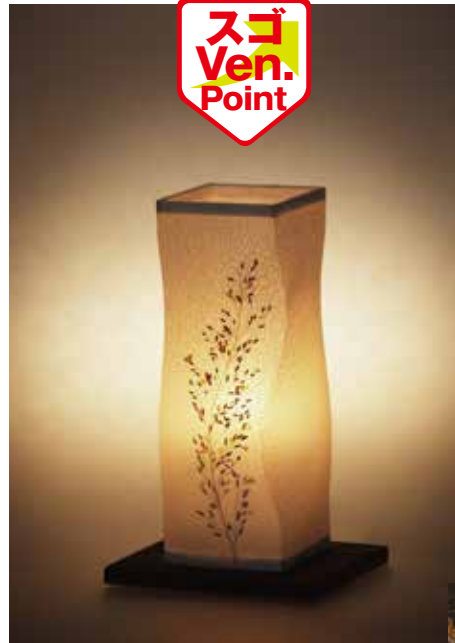
個々の強みを提供し合い、 世界を目指す企業に

■企業プロフィール

〒790-0041
愛媛県松山市保免上2-10-24
(株式会社HBソフトスタジオ内)
TEL / 089-993-6262
FAX / 089-993-6263
設立 / 平成22年4月
資本金 / 200万円
事業内容 / ゆらぐ灯り「ゆらり」開
発・製造・販売、シェード開発・プロ
デュース
http://www.yurarioakari.jp/
kageura@oceansjapan.com

■社長プロフィール

影浦 義丈
1973年伊予市生まれ。1999年
(株)HBソフトスタジオ設立。2014
年より(株)オーシャンズ代表取締役
。現在に至る。
趣味は合気道(二段)、スキューバ
ダイビング。



代表取締役
Yoshihake Kageura
影浦 義丈

世界を変える道具をつくり、誇れる人生を全うする



デジタルとアナログの融合で 心を癒す「灯り」を開発

「ゆらり」は、複雑でやすらぎのあるロウソクの炎のゆらぎを限りなく本物に近く再現したランプ。光源に白熱電球を使用し、LEDにはない光の温かさに加え、マイコン制御により複数個の電球を不規則に点灯させることで、独特のゆらぎのリズムを再現している。このロウソクの炎のゆらぎは「1 / f ゆらぎ」と呼ばれ、人間が心地よいと感じるリズムとされる。開発においても、照明器具としての明るさよりも、心を癒すやわらかな灯りにこだわった。明るさはちょうどロウソク1本分。ヒーリング(癒し)を目的としたリラクゼーショングッズとしての利用が期待さ

スローガン

- あなたの「できたらいいなあ」をカタチに
- 灯りと共に、愛媛の伝統工芸の魅力を世界に伝えたい

オリジナル製品・サービス

- マイコン搭載でロウソクの炎のゆらぎを再現した光源ランプ「ゆらり」
- 愛媛の素材(竹・和紙・陶器・ガラス)を使用した伝統工芸的シェード

技術者のアイデアから生まれた 小さな光源の可能性

開発のきっかけは15年ほど前に遡る。当時、新居浜市内の電子機器メーカーで社長を務めていた平田利實前社長が、技術者のレベルアップのため、社員から自由なアイデアを募集し研究開発に取り組ませていたところ、そのなかに電子制御でロウソクの炎を再現するという光源ランプのアイデアがあった。もともと事業化を目的とした研究ではなかったが、後にこの技術を伝統工芸的な手づくりの製品開発に生かせないかと考え、平成22年、松山市で新会社を設立。五十崎の和紙、松山の竹細工や、砥部焼作家らの協力を得てオリジナルのランプシェードを開発し、製品化した。その後、本事業に賛同した影浦社長が代表を引き継ぎ、現在に至っている。

作家の創作意欲をかき立てる 「ゆらり」の光源ランプ

現在、和紙、竹、ガラス、陶磁器など、愛媛の伝統工芸に用いられる素材を中心に8種類のシェードを開発し、「ゆらりの灯り」として販売している。今後はこうしたオリジナルシェードの灯りに加えて、「ゆらり」の光源だけを伝統工芸の作家等に提供するなどして、灯りの可能性をさらに広げていきたいと考えている。ロウソクの炎を再現した日本的な灯りは外国人からの反応もよく、海外進出にも積極的に取り組んでいる。さらに「ゆらり」を用いた街路灯も新たに開発し、商業施設等への普及を目指している。